

【ザ・ビートルズ 来日55周年記念】
**ビートルズのレアな芸術写真100点が
オンライン・ギャラリーで販売開始**
来日を記念する「ビートルズの日(6月29日)」から

ビートルズ来日55周年を記念して、来日時のドキュメント・フォト27点を含むビートルズの貴重で芸術的な写真作品100点の限定オリジナル・プリントが、1966年に最初で最後の来日を果たしたことから「ビートルズの日」に制定されている6月29日（火）から販売される。販売は100人を超える世界の有名ロック・ミュージシャンらのポートレートやコンサートフォトなどのミュージック・アート（※1）やメモラビリアを専門で取り扱うオンライン・ギャラリー「ファブ・フォー・ギャラリー（<https://fab4.shop/>）」で開始される。来日時を除く写真がオンラインギャラリー上で公式販売されるのは国内初となる。

■革新的な表現手法で世界的に有名なイギリスの写真家

写真は世界的に有名なイギリスの写真家ロバート・ウィテカー（1939-2011年）によって撮影された芸術の域にまで高められた写真作品。ウィテカーは来日時にビートルズに帯同し日本での滞在ドキュメントをとらえた公式カメラマンとして日本では知られているが、そのみならず、ミュージック・アート界ではサルバドール・ダリから影響を受けたという革新的な表現手法で芸術的な写真を数多く残したことから世界的に高く評価されている。

■芸術の域にまで高められたビートルズの歴史そのものを語る写真の数々

今回、取扱いを開始した写真作品は「日の丸に向かって日本武道館のステージに登る瞬間のビートルズ」（写真1）ほか日本公演のステージ写真、楽屋やホテルでのシーンなど日本滞在中のドキュメント・フォト27点をはじめ、スコットランドで撮影され米LIFE誌の特別編集版の表紙を飾ったビートルズの象徴的な写真「アンブレラ」（写真2）、1965年ニューヨークの Shea Stadium で行われた伝説のコンサート、ロンドンにあるチズウィック・ハウスの公園で撮影した「レイン」や「ペイパーバックライター」のミュージック・ビデオの撮影シーン（写真3）やミュージック・アート界で有名なジョージ・ハリスンの「Way Out」ポートレート（写真4）、「ジャケット写真の教科書」とも言われているアルバム『リボルバー』の裏ジャケットに使用された写真、ビートルズの最後の英国ツアーのリハーサル・シーン、写真家が特に親しくなったメンバー



のジョン・レノンの自宅で撮影したファミリー・フォト、英「MOJOマガジン」の表紙を飾ったポートレイト（写真5）ほか、ビートルズの歴史そのものを体感でき芸術的な作品と仕上がっている写真の計100点。

■ミュージアム・クオリティのオリジナル・プリント

写真はすべて、ウィテカーの写真作品を管理する「ロバート・ウィテカー・フォトグラフィー」監修のもとイギリスのハイクオリティな現像所でミュージアム・クオリティの印画紙にプリントされ、オリジナル・プリントを証明するウィテカー・フォトグラフィーのエンボスが押され限定番号が書き込まれている。購入者が自身で額装できるようシートでの販売をしているが、提携の額装工房のプロの職人が、マット付きで木製額におさめてお届けすることも可能。

■100人を超えるミュージシャンの写真も

オンライン・ギャラリーではビートルズのみならず、ロック・フォトグラファーとして有名なボブ・グルーエンやアラン・タネンバウムほかが撮影した100人を超えるミュージシャン（※2）のミュージック・フォトをA4程度のサイズから1mを超えるサイズまで、写真家のサイン入りで販売している。コレクションはエルトン・ジョン、キッス、クイーン、ザ・クラッシュ、ジミ・ヘンドリックス、チャック・ベリー、ティナ・ターナー、デヴィッド・ボウイ、デボラ・ハリー、パティ・スミス、フランク・ザッパ、ボブ・ディラン、ボブ・マーリー、ブルース・スプリングスティーン、レッド・ツェッペリン、ローリング・ストーンズほか。価格は写真家によって異なるが28,000円（税込）から。また、メモラビリアとして、ビートルズやメンバーの直筆サインも扱っている。

■次ページに本文中でご紹介した写真のサムネールや写真や文字データがダウンロードできるホームページのアドレスがあります。

**ミュージック・アート&メモラビリア専門オンライン・ストア
ファブ・フォー・ギャラリー**

<https://fab4.shop/>

■一般問い合わせ：ザ・ビートルズ・クラブ
03-5453-2700（平日11時～16時まで）

■広報お問い合わせ先：
080-6887-0126（浜田）
order@fab4.shop

■このページの写真や報道用資料の文字データは以下のサイトからダウンロードできます

<https://www.i-bcc.jp/press/>



＜左から写真1、写真2、写真3、写真4、写真5。本文中の写真番号に対応＞

■写真をご使用される際のお願い

1, 大変お手数をおかけいたしますが、ご使用の際は以下の写真家のクレジットを必ず表記していただけるようお願いします。

Photographer: Robert Whitaker

2, 写真家との取り決めにより、本報道用資料の内容以外の目的で上の5点の写真を使用なさないようお願い申し上げます。また、写真を使用され同一記事内でほかのビートルズ関連のニュースを扱う場合は、他のニュースと上の写真が関連しないようお願い申し上げます。※1 ミュージック・アートとは

欧米では芸術のひとつの分野として確立され、ミュージック・アートを専門に販売するギャラリーが数多く存在しています。主にロック・アーティストを被写体とした写真家のオリジナル・フォトを芸術作品として捉え、写真家の権利を守るために写真家と直接契約し、写真家のサインやエンボス、限定番号入りで取り扱っています。写真以外にも、版画作品、油絵などのメディアでも展開されています。

※2 写真作品を取り扱っているミュージシャン

ジョン・レノン、ポール・マッカートニー、ジョージ・ハリスン、リンゴ・スター、ビートルズ、B.B.キング、BOMF、アート・ガーファンクル、アンディ・ウォーホル、イギー・ポップ、ウイングス、エース・フレイリー、エルトン・ジョン、エレファント・メモリー、オノ・ヨーコ、キース・ムーン、キース・リチャーズ、キッス、キャプテン・ビーフハート（ドン・ヴァン・ヴリート）、キョーコ・コックス、クイーン、クリス・ステイン、クリッシー・ハインド、グレイトフル・デッド、ザ・キューアー、ザ・クラッシュ、ジーン・シモンズ、ジェリー・ガルシア、ジミ・ヘンドリックス、ジミー・ペイジ、ジュリアン・レノン、ジョー・コッカー、ジョー・ストラマー、ジョーイ・ラモーン、ジョーズ・パブ、ショーン・レノン、ジョン・エントウィッスル、ジョン・ベルーシ、ジョン・ボーナム、ジョン・ポール・ジョーンズ、シンシア・レノン、スティーヴ・ヴァン・ザント、ダーク・ホース、チャック・ベリー、チューブス、ディーヴォ、ティ

ナ・ターナー、デヴィッド・バーン、デヴィッド・ボウイ、デペッシュ・モード、デボラ・ハリー、トーキング・ヘッズ、トッパー・ヒードン、トム・ウェイツ、トム・ジョーンズ、トム・ペティ、ドリー・パートン、ニール・アスピノール、ニール・ヤング、パティ・スミス、ハリー・ニルソン、ピーター・クリス、ピーター・トッシュ、ピート・タウンゼント、ピート・ベスト、フィー・ウェイビル、フィル・スペクター、ブライアン・メイ、プラスチック・オノ・バンド、フランク・ザッパ、プリテンダーズ、ブルース・スプリングスティーン、フレディ・マーキュリー、フレデリック・ヒバート、ベット・ミドラー、ボ・ディドリー、ポール・サイモン、ポール・シムノン、ポール・スタンレー、ボブ・ディラン、ボブ・マーリー、マーク・ノップラー、ミック・ジャガー、ミック・ジョーンズ、ラモーンズ、リトル・クラレンス・クレモンズ、ルー・リード、レイ・チャールズ、レッド・ツェッペリン、ローリング・ストーンズ、ロジャー・テイラー、ロニー・スペクター、ロバータ・フラック、ロバート・プラント、ロン・ウッドほか